

## 第17回「ENEOS子供科学教室」を中央技術研究所で実施 ～次代を担う子供たちに、科学の面白さとエネルギーの大切さを伝えます～

当社(社長:西尾 進路)は、中央技術研究所(所長:岡崎 肇、神奈川県横浜市中区)で地元横浜市の小学校高学年の子供たちを招き、「ENEOS子供科学教室」を実施しましたのでお知らせします。

当社研究所では社会貢献活動の一環として、小学生を対象とした科学教室を2004年度から実施しており、これまでに約600名の子供達へエネルギーについて、分かりやすく説明を行ってまいりました。

第17回目の実施となりました「ENEOS子供科学教室」では、当社が生み出した様々な技術の中から石油全般、潤滑油、燃料電池をテーマに取り上げ、実験やクイズを織り交ぜながら当社の若手研究員が分かりやすく説明しました。参加した子供たちからは「石油のことを身近に感じることができた」「燃料電池の仕組みが良く分かった」などの感想があり、石油から生まれた技術・製品について興味を持ってもらうことができました。

今後もこのような活動のほか、小中学校の生徒を対象とした製油所見学会の実施など、石油・エネルギー、環境に関する啓発活動を積極的に進め、次代を担う子供たちとの交流・地域との共生に努めてまいります。

### 記

1. 実施日 2007年2月8日(木)
2. 場 所 新日本石油株式会社 中央技術研究所
3. 対 象 横浜市立間門小学校5年生27名
4. 内 容
  - (1)石油についての説明と石油サンプルの紹介
  - (2)模擬原油を用いた蒸留実験
  - (3)潤滑油を用いたさび止め実験
  - (4)燃料電池で動く模型を使った実験
  - (5)構造色を製作する実験



分かりやすく説明する当社若手研究員



当日の様子

 『中央技術研究所概要』(PDF:36.5KB)